

事務事業チェックシート

評価年度	H24	H25	H26	対象外
			○	

事務事業No 599 事業名 済州島マラソン派遣事業

分野別目標	5	子どもが輝き、文化が薫る教育のまち
政策	4	文化・スポーツの振興
施策	3	生涯スポーツの振興
基本方針	1	スポーツ・レクリエーション活動支援

事業種別	継続	主な事務事業
事業期間	～	
事業実施の根拠法令		
関連個別計画		
担当課・担当課長 (Tel)	スポーツ振興課	高松 通博 (435-1364)
関連課	国際交流課	

[事業基本情報]

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費
	その他		
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務
	その他		
会計・予算区分	会計		一般会計
	款		教育費
	項		保健体育費
	目		体育振興費
	大事業		体育振興事業
事項	済州島マラソン派遣事業		

「3つの約束・44の約束」との関連性

3つの約束	産業を元気に	まちを元気に	人を元気に	非該当
			○	
44の約束				○

1 事業概要及び実施内容

事業概要	事業目的（「誰・何」をどういう状態にする）ための事業か	事業内容				
	和歌山市と友好都市である済州市との友好親善を図ることを目的に、済州島マラソンへ参加するため、前年度の和歌浦ベイマラソンの上位入賞者の中から数名を、済州市に派遣します。	和歌山市と友好都市である済州市で開催される済州島マラソンに、和歌浦ベイマラソン上位入賞者を派遣するにあたり、参加費用の軽減を図るため、費用の一部を補助金として交付しています。				
実施内容		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
		済州島マラソンへ選手団を派遣（4名）	済州島マラソンへ選手団を派遣（4名）			

2 事業コスト

	平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度	
	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算	計画	決算	計画	決算
事業費	415	350	427		427		427		427	
伸び率 (%)	-	-	2.9%		0.0%		0.0%		0.0%	
人件費	常勤職員	924	980	980	980		980		980	
	非常勤職員									
	小計	924	980	980	980		980		980	
国庫支出金										
県支出金										
市債										
その他										
一般財源（税等）	415	350	427		427		427		427	
所要人数	常勤職員	0.12	0.13	0.13	0.13		0.13		0.13	
	非常勤職員									
主な予算内訳										

3 目標及び実績

活動指標	指標名及び達成状況				平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
	単位	全体目標値	全体目標達成度	年度別達成度					
活動指標					年度目標値				
					実績値				
活動指標					年度目標値				
					実績値				
成果指標	済州島マラソンへの派遣者数				年度目標値	4	4	4	4
					実績値	4			
成果指標					年度別達成度	100.0%			
					年度目標値				
成果指標					実績値				
					年度別達成度				

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している	○	横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む		中長期的に取り組む	○ 緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか		できる	○	あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか	○	達成している(90%以上)		おおむね達成(70~90%未満)	達成していない(70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか		できない		制約はあるが可能性はある	○ できる
[効率性]受益者負担の見直し	○	適正		負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実		○		
	現状維持				
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	<p>毎年、前年に開催された和歌浦ベイマラソンwithジャズにおいて、上位入賞した和歌山市在住又は、通勤、通学をする選手の中から若干名を、6月に開催する済州島マラソンに派遣する。</p> <p>派遣された選手は入賞するなど、優秀な成績を残すことが非常に多い。この事業は、姉妹都市である済州市と友好・親善を図ることを目的にしており、貢献度は高いと思われ、さらなる効果は、あまり期待できないが、この事業を継続することで、済州市との良好な関係を保つことができる。</p>
「見直し」 「改善」案	<p>コスト面については、引き続き削減に向けた検討をしていく。</p>